

(12)人と自然との触れ合い活動の場の予測・評価に関する意見

分類	主な意見の概要	事業者の見解
人と自然との触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観や人と自然との触れ合い活動は、住民・NGO 団体等の連携により、古老や地域での実践的な活動家の方々から本音の情報収集を図るべきである。 ・ 形式的な聞き取りなどによる建前情報により判断することは問題がある。景観や人と自然との触れ合い活動は、住民・NGO 団体等の連携により、古老や地域での実践的な活動家の方々から本音の情報収集を図るべきである。 ・ 今回の調査においては、四季を基本とした調査を実施するとしているが、実際には現地調査をした日時は限られており、十分にその実態を把握していないといえる。 ・ 陸と海の豊かなセットは人々の生活や行事と深く係わり、優れた文化を生み出してきた。このことの認識はされているのか？ ・ 準備書要約書6-25ページにおける生活文化圏の関わりがもっと詳細に記述されなければならない。 ・ カラ岳は土着の宗教的な意味を持つ、だからこそ地元の人々が崇める場所なのに「人と自然との触れ合いの活動の場」の項目で触れられるべきですが、踏み込み方不足しているし、土着の宗教に対する尊厳に全く欠けている。 ・ カラ岳は古くから白保周辺地域の人々の信仰対象となる神聖な場である。このため、空港位置の調整で山腹の切削を行わなくて済むような配慮が必要である。 ・ 文化を壊す工事は精神のよりどころを壊す工事であり、子孫に悪影響を及ぼす。 ・ 白保の海、サンゴから食材を得ている状況に、陸から汚されては今後の生活に支障がある。 	<p>地元自治体や地域を利用している方々にしたヒアリング調査を行うとともに、現地確認、文献調査を行い、人々の生活場所や活動、年中行事等について把握しました。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境変化が白保を始めとする周辺地域の人々の暮らしにどう影響するのかと言う点について、人と自然との触れ合いについて、海藻や貝の採取などが日常的に行われていることを確認しつつも、影響を与える活動がパラグライダーしかないとしている点は適切な評価とはいえない。 ・ 人と自然との触れ合いの活動の場として、飛行場の存在が与える影響のみにとどまっており、環境の改変が与えるインパクトについての詳細な分析が必要である。 	<p>赤土処理対策、排水処理対策等の実施によって、本事業が、白保をはじめとする周辺海域の水質や生態系に及ぼす影響は小さいものと判断し、海と生活文化との関係は、現況と同様に確保されるものと予測しました。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント時において工事用車両の影響は及ばないとかアクセス状況の変化は小さいとしてるが、地域住民の日常の生活道路における巨大工事の影響は過大だ。 	<p>工事用車両が一時期に集中しないよう運行計画を調整するとともに、往路と復路を可能な限り別経路とする等の環境保全措置を講じます。</p>